

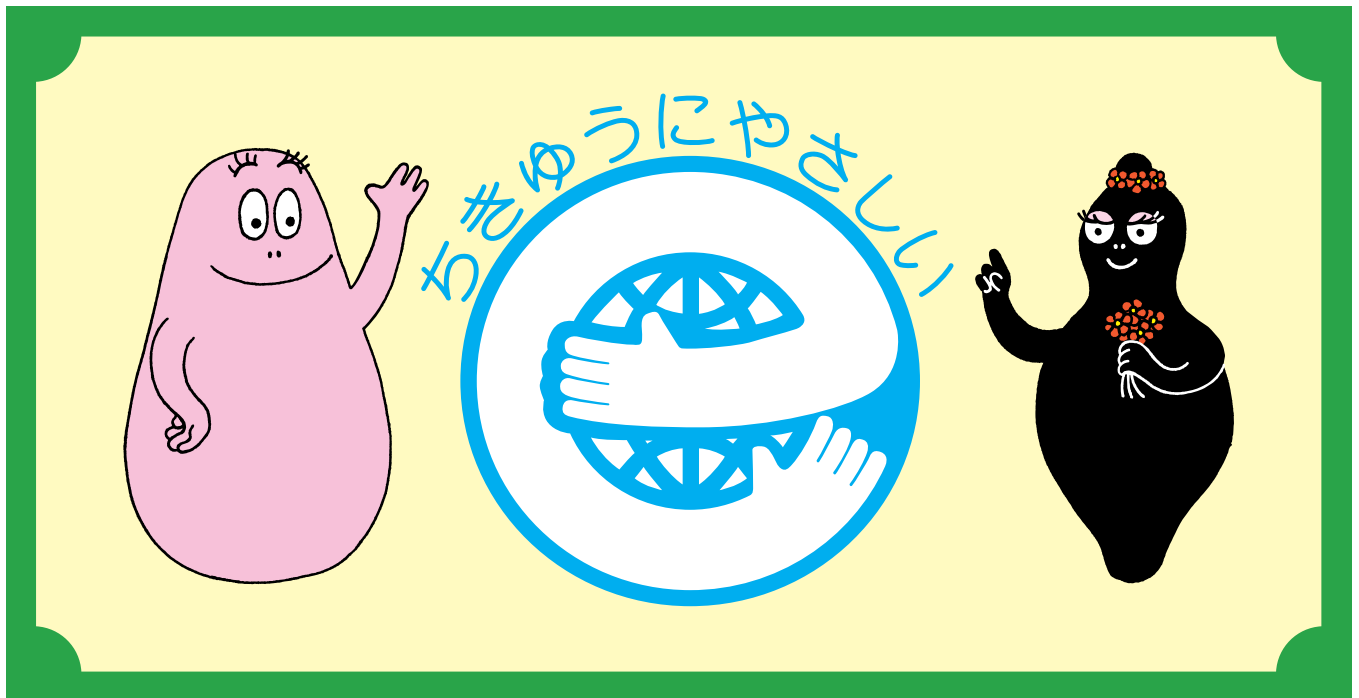


Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人日本環境協会

ニュースレター No.29 2003年6月1日発行



今年はパーババがエコマークの普及に協力してくれます。

© 2003 A.T. & KODANSHA Licensed by Sony Plaza

JEA NEWS No.29 目次

エコマーク情報	2	環境カウンセラー情報	5
平成14年度実施「エコマーク商品に関する消費者モニタリング調査」	2	環境研究会見学会が開催されました	6
「エコマーク認定における抗菌剤の取扱い」を改定しました	2	スターウォッチング	6
(財)日本環境協会監修「エコマーク商品カタログ2003年度版」・「グリーンステーション」カタログの発行	3	グリーン購入ネットワーク(GPN)の動向	7
「エコマークとグリーン購入法特定調達品目」パンフレット	3	地球温暖化防止DVDの実費領布が始まります	7
エコマーク料金体系の改定について	3	藤本基金からのお知らせ	7
エコライフフェア2003の開催	3	平成15年版環境白書表紙絵コンクールの結果について	8
世界エコラベリングネットワーク(GEN)	3	JCCCAホームページ「身近でできる取組ページ」の改訂について	8
こどもエコクラブ情報	4	新刊冊子のご案内	8
		土壤汚染対策法による指定支援法人に指定されました	8



エコマーク情報

平成14年度実施『エコマーク商品に関する消費者モニタリング調査』

この度、エコマーク事務局では、(社)全国消費生活相談員協会のご協力を得て、全国の相談員家庭内にあるエコマーク商品のモニタリング調査を行いました。また、実際に家庭内にある商品のエコマーク表示部分を提出いただき、それら表示の無断使用、誤使用についても調査しました。

調査実施期間は2002年12月5日～2003年1月17日で、

(社)全国消費生活相談員協会の会員資格保持調査員の中から人口比例に基づき600名を抽出、553名(92%)から商品購入状況についての回答およびエコマーク表示部分の送付を得ました。購入商品の総数は2,505件でした。

報告書全体は、ホームページに掲載しています。モニタリング集計の概要の一部は下記のとおりです。

『類型毎の品目別購入商品』報告件数上位5位

	類型番号	報告数	類型内1位	類型内2位	類型内3位
1位	118(再生材料を使用したプラスチック製品)	583件	ボールペン 147件	液状のり 70件	蛍光ペン 69件
2位	108(衛生用紙)	519件	トイレトペーパー 447件	ティッシュペーパー 64件	ポケットティッシュ 8件
3位	112(紙製の事務用品)	457件	ノート 223件	紙製ファイル 96件	付せん 48件
4位	113(包装用の用紙)	220件	封筒 87件	紙袋 56件	包装紙 47件
5位	004(台所流し台水切り用濾紙袋)	172件	排水口水切りゴミ袋 172件	=	=

エコマーク商品『購入先(業態別)』

業態	スーパーマーケット	生協	一般個人商店	その他購入先	ディスカウントストア	デパート	コンビニエンスストア	無回答	合計
件数(%)	831 (33.2%)	378 (15.1%)	260 (10.4%)	223 (8.9%)	170 (6.8%)	159 (6.3%)	56 (2.2%)	428 (17.1%)	2,505 (100%)

エコマーク商品における品質面での満足度

『品質面における満足度』については、	
①非常に満足	31.9%
②ある程度満足	52.4%
③どちらとも言えない	11.7%
④あまり満足していない	2.8%
⑤全く満足していない	0.3%
⑥その他	0.9%

① + ② = 84.3% ④ + ⑤ = 3.1%

無断使用および誤使用表示件数

エコマーク無断使用(A)			エコマーク誤使用(B)		
類型番号	商品	件数	類型番号	商品	件数
108	衛生用紙	8件	108	衛生用紙	5件
113	包装用の用紙	6件	113	包装用の用紙	4件
112	紙製の事務用品	5件	112	紙製の事務用品	2件
120	紙製印刷物	4件	その他		2件
その他		5件	(A + B) = 41件		

上記41件(商品数として36商品)については、エコマーク事務局として現在、厳正な対応を行っています。

「エコマーク認定における抗菌剤の取扱い」を改定しました

これまで、エコマーク認定における抗菌剤の取扱いについては、審査委員会において個々の製品ごとに判断し

ていましたが、3月1日付けで規定を改定し、抗菌剤の使用可能な対象製品や試験方法などを明文化しました。

エコマーク認定商品数の推移：

2003年3月末日現在、エコマーク商品類型は64、認定商品数合計5,476商品。3ヶ月前に比べ83商品、前年同月比では462商品の増加。

認定基準の制定(2003年2月20日制定)：

「情報用紙Version2.0」、「印刷用紙Version2.0」、「衛生用紙Version2.0」

現在公開中の認定基準(案)(2003年8月20日制定予定)：

「タイル・ブロックVersion2.0」

(財)日本環境協会監修「エコマーク商品カタログ2003年度版」と「グリーンステーション カタログ」の発行

「エコマーク商品カタログ2003年度版」

4,000以上のエコマーク商品を紹介。

【問合せ先】(株)チクマ秀版社
「エコマーク商品カタログ」
担当：杉浦、小山
TEL：03-3965-1411
FAX：03-3969-4511



「グリーンステーション カタログ」

エコマーク商品の購入・決済も
できるウェブサイト
<http://www.greenstation.net>
がカタログになりました。



【問合せ先】(株)ファイン
TEL：06-4704-5841
FAX：06-4704-5726

「エコマークとグリーン購入法特定調達品目」パンフレット

エコマークの商品類型認定基準と、グリーン購入法
の特定調達品目とその判断の基準の対応関係をわかり
やすくまとめたパンフレット「エコマークとグリーン購
入法特定調達品目」の2003年度版(A4二つ折：4ページ)
が完成しました。昨年度よりページ数も増え、エコマ
ークに関する情報なども充実しています。

本パンフレットは、主に国、自治体等の公共調達の
参考情報としても活用いただいています。また、「自社
で独自に配布したい」というご要望の場合は、エコマ
ーク事務局までご相談ください。ホームページからもプ
リントアウトできます。

エコマーク料金体系の改定について

現行のエコマークの料金体系では、1認定商品あたり
の標準的な小売価格に対して、2年間で8万円から20万
円のマーク使用料金が設定されています。この度、現
行の料金体系が抱えている種々の不公平・不合理の是
正を目的に、料金体系の見直しを進めていくこととな
りました。改定の概要は以下のとおりです。

1. エコマーク使用料の改定
 - ・小売単価リンクから売上高(出荷販売額)リンクへ
 - ・1年ごとの契約を原則としたマーク使用契約
2. 商品認定審査料の新設
 - ・商品認定審査料 = 2万円 / 1申込商品

- (マーク使用申込書ごと)
- ・商品追加認定料 = 1万円 / 1追加認定申請
3. 料金改定の実施時期
 - ・商品認定審査料および商品追加認定料
2003年10月1日をめどに徴収を開始
 - ・エコマーク使用料
2004年度後半～2005年度半ばをめどに改定

エコマークホームページ：
<http://www.jeas.or.jp/ecomark>

エコライフフェア2003の開催

日時：5月31日(土)～6月1日(日)
場所：都立代々木公園 園路
主催：エコライフフェア2003実行委員会
(環境省、(財)日本環境協会、他)
協会では「もっと知りたい環境のこと」をテーマに
ブースを設け、エコマーククイズや、「こども環境
相談室」の相談員による身近な環境実験、新刊冊子
や温暖化防止DVDなどの販売を行います。
クイズにこたえると、パーパババの絵ハガキをプ
レゼント。
お誘いあわせの上、是非ご来場ください。

世界エコラベリング ネットワーク(GEN)

GENでは2003年5月5日(月)～5月8日(木)、カナダ・
オタワで役員会を開催しました。役員会では長期的な
目標と戦略プランの策定を中心に、国際機関のグリー
ン調達における「エコラベル商品リスト」、世界のエコ
ラベルにおける化学物質データベースの作成、秋にプ
ラハで開催される年次総会の内容などについて話し合
われました。

また、参加者は今回のホストである Terra Choice
Environmental Services Inc.を訪問しました。

GENホームページ：<http://www.gen.gr.jp>

世界のエコラベル～GEN会員機関紹介は今号休みます。



こどもエコクラブ情報

平成15年度「こどもエコクラブ」事業と参加募集開始について

こどもエコクラブは、次代を担う子どもたちが人と環境への理解を深め、体験を積み重ねながら環境を大切にすることを育んでいくことを目的として、環境省が自治体との連携のもとに推進しています。

平成7年度の事業開始以来、全国で延べ約50万人の参加があり、平成14年度は全国で約4,000クラブ、約77,500人の小・中学生が参加しました。それぞれのクラブは身近な地域の中で自然観察や



子どもたちの活動の様子

水質調査、リサイクル活動や町のエコチェックなど様々な活動を各地で楽しく繰り広げました。

平成15年度の参加募集は4月から始まっています。小・中学生2人以上のグループと活動を応援する1人以上の大人がいれば、誰でも参加できます。お住まいの市区町村環境担当の窓口にお問い合わせください。(昨年度登録していたクラブも再度登録が必要です。)
【問合せ先】虎ノ門本部 こどもエコクラブ全国事務局
TEL 03-3508-2651

子どもたちの活動の様子はホームページ：
(<http://www.env.go.jp/kids/ecoclub/katsudou/index.html>)
にも掲載しています。

平成14年度こどもエコクラブ交流活動について～「こどもエコクラブ全国フェスティバル in させば」報告～

こどもエコクラブの1年間の活動の締めくくりとして、「こどもエコクラブ全国フェスティバル in させば」が開催されました。

1日目は、各都道府県からの招待クラブ(53クラブ)が参加し、1年間の活動をまとめた壁新聞をもとに日頃の活動について熱心に取材しあいました。

2日目は晴天の中、西海国立公園の一画をしめる九十九島が一望できる会場に約15,000名もの来場者を迎え、一般参加のプログラムが実施されました。九十九

島の水生生物に触ることができるブースや、地元のこどもエコクラブや市民団体などによるリサイクル工作のブースなどをまわったり、遊覧船に乗って九十九島の自然を満喫するなど、楽しみながら環境を考える機会となりました。

多くの市民・団体からご協力ご支援をいただき、地域の方々との交流を深めることができた全国フェスティバルとなりました。関係各位にお礼申し上げます。



壁新聞を掲示してお互いのクラブの活動を取材しあう子どもたち(1日目)



環境副大臣と船に乗って自然を満喫(2日目)

開催日：2003年3月29日(土)、30日(日)

開催場所：長崎県佐世保市

県立佐世保青少年の天地(29日)

西海パールシーリゾート(30日)

主催：環境省、長崎県、佐世保市、(財)日本環境協会
協賛：エコー電子工業(株)、(株)九州銀行、九州ジャスコ(株)、(株)九州デン、九州電力(株)、国際ソロプチミスト佐世保・パール、コマツ電子金属(株)、西肥自動車(株)、西部ガス(株)、佐世保海員厚生協会、佐世保ライオンズクラブ、佐世保ロータリークラブ、(株)親和銀行、西部環境調査(株)、ソニーセミコンダクタ九州(株)長崎テクノロジーセンター、(株)タナカ総合環境設計、電源開発(株)、(株)電発環境緑化センター、トヨタ自動車(株)、(株)中村ストアー、西九州ウェルマート(株)、日本テトラパック(株)、ハウステンボス(株)、(株)微研テクノス、(有)フォーテック、松下電器産業(株)、三井物産(株)、三菱重工業(株)長崎造船所、(株)モデル百貨(五十音順)

こどもエコクラブの環境活動プログラム(CD-ROM版)のご紹介

こどもエコクラブニュースを通じて提供してきた環境活動プログラム「エコロジカルとれーにんぐ」を、CD-ROM(Windows版)にまとめました。身近な環境に視点をおき、できることから始め、地域に根ざした楽しい活動に発展することのできる内容となっていま

す。昨年度、登録のあったクラブと自治体に補助テキストと共に1部送付しています。



環境活動プログラム「エコロジカルとれーにんぐ集」

環境カウンセラー情報

平成14年度環境カウンセラー登録者の決定

平成14年度環境カウンセラー登録制度の面接審査(二次審査)が、2003年1月下旬より2月中旬にかけて大阪・東京の2会場で行われました。その結果、事業者部門197名(うち女性11名)、市民部門184名(うち女性51名)、合計381名の方が新たに登録されました。

環境カウンセラー登録者 平成15年4月1日現在 単位：人

登録年度	事業者	市民	合計
平成8年度	613	288	901
平成9年度	315	168	483
平成10年度	274	175	449
平成11年度	152	142	294
平成12年度	221	135	356
平成13年度	223	193	416
平成14年度	197	184	381
合計	1,995	1,285	3,280

平成15年度環境カウンセラー募集について

今年度の募集は、7月上旬に「平成15年度環境カウンセラー募集要綱」が出来上がる予定です。募集要綱の入手の方法については、6月末頃、虎ノ門本部担当までお問い合わせください。

環境カウンセラーホームページ

環境カウンセラーのホームページが昨年度全面的にリニューアルしました。環境カウンセラー登録者検索、制度概要、募集のお知らせに加え、活動事例や全国の環境カウンセラー協(議)会情報などを掲載しております。



<http://www.env.go.jp/policy/counsel/index.html>

活動紹介 No.3

【事業者部門 神奈川県 大掛猪津夫さん】

『子どもたちと共に、キッズISOプログラムに取り組む』

事業経営上の環境保全の指導と日本監査役協会の環境監査研究会のメンバーとして、事業者の環境問題の取り組みを研究する傍らで、キッズISOを使って子どもたちが主役の環境活動を進めています。

まず、小学校、公民館、自治体等に働きかけ、活動企画の支援から、児童へのプログラムの指導、提出されるワークブックの評価とマネジメント能力の審査などを行います。昨年度から本格的に進めていますが、埼玉、東京、神奈川などで実施するなかで、レクチャーに聞きいる子ども達の眼差し、ワークブックに書かれている「気づき」、保護者の反応に感動を覚え、これこそ環境カウンセラーの本領と悦に入っています。キッズISOは全国では既に4万人以上の児童が参加し、今年度から文部科学省からも推奨され、一層の拡大が期待されます。



「kids ISO活動」

【市民部門 山口県 藤野完二さん】

『水をテーマにした環境創作劇の公演』

山口県の錦川の「源流の森」「川の流れ」「河川汚染の実態」「干潟」をテーマとした4つの環境学習劇のシナリオを創作し、流域の4つの小学校で練習してもらい公演しました。小学生が劇の練習をする過程で効果的な環境学習ができ、環境汚染の被害者である子どもの立場から大人に向けたアピールが出来るため観客に対する問題提起にもなりました。

その後、出演した子どもたちの間で反響があり、子どもたちから再挑戦の申し出により6月15日に実施する「カエルフォーラム」で上演することとなりました。「百の語より、子どもたち自身が輝ける一つの体験」の大切さを痛感している昨今です。

カエルフォーラムについての問合せ先

藤野完二 TEL・FAX 0827-55-0410

田中 進 TEL・FAX 0834-88-2529



環境創作劇の公演

子ども環境相談室ホームページができました。 <http://www.jeas.or.jp/press.html>

環境研究会見学会が開催されました

3月10日、環境研究会見学会を開催しました。これは、当協会「環境研究会」会員を対象としたバスツアーで、年1回環境保全に積極的に取り組む企業や先進的な研究施設を訪れています。

午前中は千葉県市原市の市原エコセメント(株)を見学。エコセメントとは、都市ごみの焼却残さなどを主原料とする、資源循環型の新しいセメントで、ここでは千葉県の人口の1/4にあたる150万人分のごみの焼却灰から、年間11万トンのエコセメントを生産しています。強度は国際基準に適合、工場からの排気・排水は廃棄物処理場並みの基準をクリア、重金属やダイオキシン類も安全に処理されているということでした。



DME利用技術見学

午後は神奈川県横浜市のNKK鶴見事業所(現JFEホールディングス(株))を訪れ、軽油やLPGの代替燃料として期待されるクリーン燃料DME(ジメチルエーテル)利用技術を見学しました。

DMEは、炭素同士の結合がなく燃焼時に黒煙を発生しない物質で、軽油と同様にディーゼル機関に適した燃料です。実際に公道走行実験に使われているトラックから、排気黒煙が全く発生しない様子なども見せてもらいました。ガスタービン発電やディーゼルエンジン発電、燃料電池などへの適用についての研究も進められており、2006年度のDME供給開始に向けた世界的な動きが始まっているようです。

【問合せ先】虎ノ門本部 環境研究会担当

過去の見学会についてはホームページに掲載しています。

<http://www.jeas.or.jp/kanken2.html>

スターウォッチング

平成15年度夏期全国星空観察(スターウォッチング・ネットワーク)の実施について

「全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)」は、環境省が昭和63年から全国の地方公共団体、学校、市民グループ等に呼びかけ、年2回(夏期・冬期)実施しています。星空観察という身近な方法によって、大気汚染の状況や光害と呼ばれる現象の一つである「夜空の明るさ」について多くの方に興味を持っていただくことを目的としています。

【観察実施期間】2003年7月19日(土)~8月1日(金)

【観察方法】①肉眼による天の川の観察

②双眼鏡を用いたこと座の観察

【参加申込・問合せ先】都道府県・政令指定都市・中核市の大気環境担当部局までお問い合わせください。詳細については、ホームページで。多くの方の参加をお待ちしています!(<http://www.env.go.jp/kids/star.html>)

全国星空継続観察は国立天文台の後援をうけ、「スター・ウィーク~星空に親しむ週間~」(毎年8月1日~8月7日)との連携をはかっています。国立天文台スター・ウィークホームページ:
<http://www.starweek.jp/>

第15回「星空の街・あおぞらの街」全国大会について~静岡県浜松市~

「星空の街・あおぞらの街」全国大会は、「星空の街・あおぞらの街サミット」(昭和63年6月北九州市)において採択された、「空を活かし空を楽しむ宣言」の趣旨にのっとり、清らかな大気を再認識し、美しい星空を次世代へ守り継ぐとともに、郷土の自然環境を生かした地域づくりの推進を目的としています。

今年度は、静岡県浜松市で第15回全国大会が開催されます。大会では、大気保全への普及啓発や大気環境の観察において優れた活動等を行った団体及び個人の表彰を行います。また、音とかおりと光に関するワークショップの開催や「浜松市における音・かおり・光

に関する生活環境創造計画について」と題してシンポジウム等が行われる予定です。

【日時】2003年9月19日(金)・20日(土)

【会場】アクトシティ浜松

【主催】環境省、静岡県、浜松市、

「星空の街・あおぞらの街」全国協議会

【参加対象】全国協議会加入団体、本大会の趣旨に賛同する自治体、企業、住民

【問合せ先】静岡県浜松市

環境保全課 TEL: 053-453-6170)

「第7回(2002年)グリーン購入アンケート結果報告(詳細版)」の発行

GPNは毎年、グリーン購入に関する現状を調査するため国内の企業・行政機関・民間団体を対象としたアンケートを実施しています。

「第7回(2002年)グリーン購入アンケート」について、このたび調査結果を詳細な報告書としてまとめましたのでご活用ください。(調査:2002年10月~11月実施、発送件数3,906件、有効回答数1,356件、有効回答率35%)

【問い合わせ先】GPN事務局

【価格】一般:10,000円(GPN会員:7,000円)

ホームページでもご案内しています。

<http://eco.goo.ne.jp/gpn/files/research/7th.html>

主な内容

1. グリーン購入の取り組み状況
全般的取り組み/実績の公開/グリーン購入担当部門/参考とする商品環境情報/グリーン購入の効果/取引先評価/商品別取り組み状況/課題等
2. 各商品分野の購入実態と課題
ベースにする基準やよく活用する情報/商品選択の際に考慮する環境配慮ポイント等
3. 環境配慮型商品の製造・販売状況
環境配慮型商品の販売割合/環境配慮型商品販売額の増減/顧客の関心の变化

このほか、販売者側と購入者側の回答内容対比および第4回(1999年)~第6回(2001年)の結果概要も収録。

GPN事務局 TEL:03-3406-5155 FAX:03-3406-5190 ホームページ:<http://www.gpn.jp/>

地球温暖化防止DVDの実費頒布が始まります

環境省企画・制作、(財)日本環境協会、(株)NHKエンタープライズ21制作協力の環境学習DVD教材「知ろう・学ぼう・考えよう 地球温暖化」の実費頒布を始めます。本DVDは昨年11月に完成、昨年12月~本年3月まで、全国の小中高校、自治体等に無償配布されましたが、企業や個人の方からも、企業内教育や、家庭での視聴等のため入手したいという声が多く寄せられたため、当協会が環境省の許可を得て複製し、実費頒布し、広くご要望にお応えすることにしました。

【実費頒布価格】1部1,700円

【送料・梱包費】右記(配送は宅配便)

【申し込み方法】①DVDの名称②必要部数③納品

先住所④受取人氏名⑤電話番号⑥請求書等を必要な場合はその旨明記の上、代金と送料を郵便振替または定額小為替にてお送りください。

(1)郵便振替:口座名義人 財団法人日本環境協会
No.00120-6-59481

振込料金はご負担ください。

(2)定額小為替:代金と送料分を同封してください。

部数	送料等
1~2	350円
3~6	450円
7~10	650円

11部以上の場合はお尋ねください。

詳しくはDVD担当まで。

藤本基金からのお知らせ

藤本倫子環境保全活動助成基金では、第3回審査の結果、以下の団体に交付することが決まりました。

団体名	活動地域	事業内容
下松タウンセンターエコニコフェスティバル実行委員会	山口県下松市	第2回エコニコフェスティバル こどもエコクラブ山口大会
らくらく環境学習ネットワーク	東京都北区	こどもまち探検・地域環境 イラストマップ作成

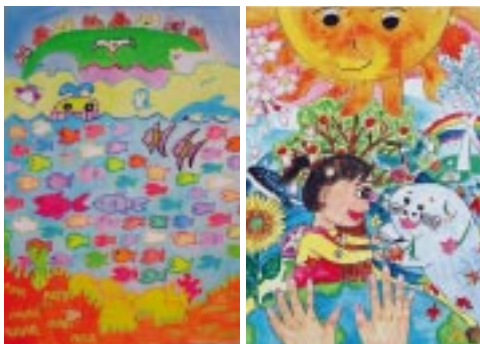
この基金は、平成14年度から始まり、初年度の助成実績は、上記団体を含め6団体でした。

詳細については、当協会ホームページをご覧ください。また、平成15年度版募集要項も掲載しています。

今年度より募集期間を3回(3月1日~3月31日、5月1日~6月30日、8月1日~9月30日)に分けました。応募に際しては、必ず平成15年度の募集要項をご覧ください。

平成15年版環境白書表紙絵コンクールの結果について

環境白書の普及と環境保全意識の啓発のため、この表紙を飾る絵を、環境省と当協会の主催により2002年8月から2003年1月末日まで募集しました。



大臣賞・武輪真知さん 理事長賞・脇田麻優香さん

「小・中学生の部」1,305点、「一般(高校生以上)の部」235点と多くの力作が寄せられました。

選考の結果、最優秀賞 環境大臣賞 は、武輪真知さん(現・大阪府大阪市立築港中学校)と、内山千代さん(静岡県三島市在住)が受賞しました。優秀賞 日本環境協会理事長賞 は、脇田麻優香さん(現・大阪府柏原市立玉手中学校)と、岡野和寛子さん(栃木県宇都宮メディア・アーツ専門学校)が受賞しました。受賞のみなさんには、4月2日に環境省で行われた表彰式で、鈴木俊一環境大臣と加藤陸美理事長から表彰状が授与されました。この4点は、平成15年版環境白書の表紙や環境月間のポスター等に採用される予定。

下記Webにも掲載されています。

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h15hyoshi.html>

JCCCAホームページ「身近でできる取組ページ」の改訂について

全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)では、地球温暖化を防止するために1人ひとりができる、身近な取組みをホームページに掲載してきましたが、この度ページを全面的に改訂し、「家庭での暮らし方」「交通・移動」「購入と廃棄」「エコ住宅」の4つの分野別に効果とその取組みややすさをつけて掲載しました。

効果については、それに取組むことで削減できる温室効果ガスの排出量を目安とし、取組みややすさは、その対策を実施する際にかかる費用を目安として評価してあります。

今日から出来る取組みが見つかると思います。ぜひご利用ください。

<http://www.jccca.org/find/action/>

全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)
<http://www.jccca.org>



新刊冊子のご案内

6月中旬発行

新刊冊子「Care about the Earth ~ごみと社会を考える」が発行されます。これは日本のごみ問題とは何か、循環型社会を構築するために国や自治体、企業がどんな取組みをしているかをわかりやすく解説し、1人ひとりが何をすればよいかを考え、行動に移すためのきっかけになることを目標とした作りになっています。考えたり、調べたりするポイントを提示したワークシートやコラムを設けていますので、自治



体や、環境学習施設での市民講座や、企業内研修、中学校以上の総合的な学習の時間のテキスト・ワークとして、様々な環境教育の場で使用できます。

当協会では、今後ともこのような最新の環境問題を扱った小冊子を発行していきたいと考えています。

【価格】1冊300円 【体裁】A4 24Pカラー

【送料】実費(2冊まで160円)3冊以上はお問合せください。

【問合せ先】出版物担当

詳細は折込チラシまたはホームページをご覧ください。

土壌汚染対策法による指定支援法人に指定されました

2002年12月25日に土壌汚染対策法第20条第1項の規定に基づき、同条第2項に規定する指定支援法人に指定されま

した。土壌汚染対策法の関連については当協会ホームページに掲載しています。

編集・発行 / 財団法人日本環境協会 <http://www.jeas.or.jp>

虎ノ門本部 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2 虎の門高木ビル7階

(協会) TEL.03-3508-2651 FAX.03-3508-2570
(エコマーク事務局 認証課) TEL.03-3508-2653 FAX.03-3508-2656
(エコマーク事務局 基準課、普及課、GEN総務事務局) TEL.03-3508-2662 FAX.03-3508-2656
(こども環境相談室) TEL.03-3508-2658 FAX.03-3508-2570

青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2階

(全国地球温暖化防止活動推進センター) TEL.03-3406-5010 FAX.03-3406-5190
(GPN) TEL.03-3406-5155 FAX.03-3406-5190

